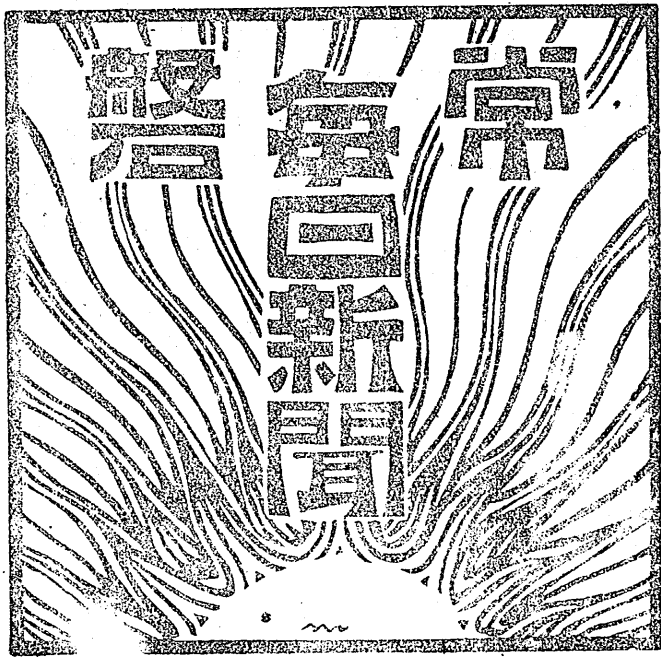


日刊 發行部 電話六三〇番



刊夕日六月二十

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元 零售 五分

貸家案内 白銀町 商人向 廿六圓 仲町 勤人向 十六圓 柳町 同 八圓 北町 同 七圓 柳町 同 六圓 柳町 同 五圓 柳町 同 五圓

真理の賣出し (2x9)=(3x2x3) 肉は三三三 眞理で御座る 其肉はよく 其値は安く 此上なしとは 是れ又眞理 夫れに尙しかけて 割引賣出し 肉は三三三 電話三三三

腸胃 専門 皮膚病 毒梅 皮膚病 院病村松 町南平

内科 小児科 花柳科 (需應院入) 藤沼醫院 電話五〇七番

大谷時計病院 大衆向の實用腕時計 拾八金側拾型パリス金支エトウ 特價 拾壹圓 拾九型 特價 五圓八拾錢

七五三ノ御祝着 可愛イ御子様ノ品々 各種 店商ヤルツ (〇四・一電)目丁四町平

吉 醬油 味噌 鰹節 罐詰 食品 屋問造製 社會名合崎山屋鹽 電話 一部業營 番〇一 番七二場工

常警論壇 景氣の根柢 (24) 經濟學博士太田正孝氏述 是は日本の習慣と申します

が不景氣になりましてどの位資産が少くなつたかと申しますと個人に就ての調べはございませぬ。會社に付て日本興業銀行の調べに依つて見ますと、不景氣が始まりました大正九年から大正十五年迄の間に於て會社の解散したものが四十億一千八百萬圓であります。

解散にならなくても今迄百萬圓でやつて居た會社が七十萬圓とか五十萬圓とか云ふ風に減資したものが少くない、それも同じく大正九年から大正十五年迄の數字を調べて見ますと十六億五千二百萬圓と云ふことになりまして、解散致しましたのが四十億一千八百萬圓、減資致しましたのが十六億五千二百萬圓で兩方合せるのが百億七千七百萬圓と云ふことになります。それは全部ではありません。



町平 吉田眼科醫院

常磐第一ノ磐城炭礦ノ石炭 大炭礦ナル 石炭トノ特長 一、目方ノ正確 二、品質ノ優良 三、配達ノ迅速

美術袋物カバン類の御用は ヨドヤ「堅い品」を求めなれます 特價品豊富 當店は「飽く迄も親切第一」を信条とします

メタルを輝かせて 櫛田氏の愛馬歸着

長途の疲れは既に回復 大變な元気で炭屋へ

青森、下関間五百六十五里
長途騎乗の勇士櫛田彦之進
氏の愛馬秀盛號は下關に休
養二日の後貨車のお客とな
り馬丁なる彦之進氏の甥櫛
田嘉兵衛君と
共にならぬ事 五日午後
零時三十分平驛に着いた、
見物の群衆で一時非常な雜
踏して愛馬は縣産馬畜産聯
合組合から贈られたメタル
を胸間に輝かせつゝ炭屋旅
館着嘉兵衛君の手入を受け
り目下準備中である

掘るは掘つても 使ひ手のない石炭

常磐炭のみじめさ

鐵道納入廿四萬噸減少
大立物 である入山
磐城の兩礦の有煙炭が直に
復舊は困難と見て鐵道納入
を例年より二十四萬噸を減
じたが兩礦の出炭復舊が存
外早かりし爲め下勿論財界
今日の不振も大なる關係を
及ぼしてゐる事は言を俟た
ないが、常磐炭の販路は殆
んど一定してゐるので消化
し切れない結果此影響が無
煙炭に波及せざるに他なら
ないと思像する

炭價は 各礦の協定 に依り辛くも維持されては ゐるものゝ掘出された石炭 は販路先が減少したのか師 走の決算期を前に各山とも 貯炭の山を築くの慘状であ る之に就て某礦界の重鎮は 語る「需要に入つて獨り常 磐炭のみが斯くの如き慘さ を見てゐる最大原因とも云 ふべきは即ち今春労働争議 に引續いて水火の難に遭つ た常磐炭礦界の

故意に米價の 引下を講ず

平穀物検査所管内ではそ
高野、あの玉壽司は元北村
時計店だつたんです、主
人公がどうした譯かだん
く眼が悪くなり時計の
様なこまかな細工は骨が
折れるばかりでなく良く
見えない爲め一つ一つの修繕
物を預ると幾度も遣り直
しをさせられるので手間
にばかりかゝつて行つた
も来たもないと云ふ處か
ら時計屋をやめ東京へ壽
司の修業に行つて来て始
めたのださうです
阿部、北村時計店主が玉壽
司になつたんですか、あ
の人は無類の野球狂で野
球の試合にあの人の姿を
見ないのは實に稀れな位
へだつたんですが……へ
エー眼が悪くなつたんで
時計屋を止めましたかネ
石川、とすれば東京へ行つ
て壽司の修業と云つた處

汽車と馬の競走 遂に汽車が敗ける

夏井川前驛間で 駄馬が線路に駆け込む

四日午後一時四十分磐越東
線より第五十二號貨物列車
が夏井、川前驛間郡山起點
三十五キロ米突の地點附近
に差しかゝつた際線路内に
駄馬が駆け込線路にそうて
列車の前方を疾走し、くら
警笛を吹鳴らしても線路外
に出でず、約八丁餘を追跡
の後急停車し機關手が下車
し漸くにして奔馬を取押へ
馬主がないので一丁餘を距
たる山林に馬をつなぎ難な
きを得たがこれが爲め同列
車は約十五分遅延した
平町米穀値下 平町
米穀商組合では今回左の如
く値段を協定値下した
▲上白米一升三十六錢▲
中白三十五錢▲並白三十
四錢▲陸白三十三錢▲
▲つき麦十九錢

平署巡查異動

平署
察署では今回左の如く管内
各駐在巡查の異動を行つた

貯金預入高 増加が續く

今春の經濟界の大恐慌以來
郵便貯金が増加して来たが
郵便局における本年三月
末現在と四月末現在の預け
入れ高を比べて見ると三月
は四萬五千七百七十九圓十
四錢、四月末は八萬六千八
百六十四圓七十三錢で四萬

平窪信用協議

石城
郡平窪村信用販賣購買組合
は好成績のうちに明年創立
五週年を迎へるので記念と
して新規事業を起すべく役
員會を開いて協議すると
る重傷を負はせて逃走中
あつた同所遠藤幸太郎(三
)は各所を徘徊して五日夜自
宅に舞戻つた所を手配中の
平署員に逮捕され本署に拉
致されて嚴重取調中である
が將司の経過は安外良好で
川平炭礦病院にて加療中で
ある

平町米穀値下

平町
米穀商組合では今回左の如
く値段を協定値下した
▲上白米一升三十六錢▲
中白三十五錢▲並白三十
四錢▲陸白三十三錢▲
▲つき麦十九錢

平署巡查異動

平署
察署では今回左の如く管内
各駐在巡查の異動を行つた

貯金預入高

増加が續く
今春の經濟界の大恐慌以來
郵便貯金が増加して来たが
郵便局における本年三月
末現在と四月末現在の預け
入れ高を比べて見ると三月
は四萬五千七百七十九圓十
四錢、四月末は八萬六千八
百六十四圓七十三錢で四萬

平窪信用協議

石城
郡平窪村信用販賣購買組合
は好成績のうちに明年創立
五週年を迎へるので記念と
して新規事業を起すべく役
員會を開いて協議すると
る重傷を負はせて逃走中
あつた同所遠藤幸太郎(三
)は各所を徘徊して五日夜自
宅に舞戻つた所を手配中の
平署員に逮捕され本署に拉
致されて嚴重取調中である
が將司の経過は安外良好で
川平炭礦病院にて加療中で
ある

耳の鬼

旭橋通りを老松町
へ來ると黒山のやうな人垣
何事かと立寄ると一人の少
女がさも旨さうに生蛇の血
を吸り膽を食つてゐる所な
のであつたと此怪少女は北
海道生れの世界的珍人熊娘
(一)とて全身熊のやうに毛
で埋まり平常食事の代りに
生蛇を食してゐるそれが素
敵な美人であるとは聞くの
もゾツとする

平町米穀値下

平町
米穀商組合では今回左の如
く値段を協定値下した
▲上白米一升三十六錢▲
中白三十五錢▲並白三十
四錢▲陸白三十三錢▲
▲つき麦十九錢

平署巡查異動

平署
察署では今回左の如く管内
各駐在巡查の異動を行つた

貯金預入高

増加が續く
今春の經濟界の大恐慌以來
郵便貯金が増加して来たが
郵便局における本年三月
末現在と四月末現在の預け
入れ高を比べて見ると三月
は四萬五千七百七十九圓十
四錢、四月末は八萬六千八
百六十四圓七十三錢で四萬

感冒の豫防法

便秘と感冒引いては消化器
の感冒とは不離の關係にあ
ります、消化器が健全、便
通が整つて居れば感冒の豫
防は先づ協つて居ります消
化器の弱い人は便秘をしそ
のため腸内に發生する有
害な物質が血液の中に吸収
され毒の爲めに体内中毒か
ら体力を衰弱にいたします
それ故に寒、時分に便秘を
起し易いおそれある人や胃
腸の弱い方は便通のあく食
物を攝る様に心懸るとよろ

平町米穀値下

平町
米穀商組合では今回左の如
く値段を協定値下した
▲上白米一升三十六錢▲
中白三十五錢▲並白三十
四錢▲陸白三十三錢▲
▲つき麦十九錢

平署巡查異動

平署
察署では今回左の如く管内
各駐在巡查の異動を行つた

貯金預入高

増加が續く
今春の經濟界の大恐慌以來
郵便貯金が増加して来たが
郵便局における本年三月
末現在と四月末現在の預け
入れ高を比べて見ると三月
は四萬五千七百七十九圓十
四錢、四月末は八萬六千八
百六十四圓七十三錢で四萬

平町米穀値下

平町
米穀商組合では今回左の如
く値段を協定値下した
▲上白米一升三十六錢▲
中白三十五錢▲並白三十
四錢▲陸白三十三錢▲
▲つき麦十九錢

平署巡查異動

平署
察署では今回左の如く管内
各駐在巡查の異動を行つた

話の物いまう

阿部、處で其の壽司だが何
處の家ののお口にかなひ
ます?
川崎、僕は未だ食べて見た
譯ではないが、警成銀行の
二口君の奥さんと聞いた
話に依ると平銀行の横町
の玉壽司が大層良いさう
です、二口君の奥さんは
東京育ち丈に仲々の食通
だからまさか満更のもの
を推薦する筈はないと思
ひます

平町米穀値下

平町
米穀商組合では今回左の如
く値段を協定値下した
▲上白米一升三十六錢▲
中白三十五錢▲並白三十
四錢▲陸白三十三錢▲
▲つき麦十九錢